

「いい会社 経営研究会」

～活動報告書～



2015年度 公益社団法人 豊橋青年会議所

2015年度 公益社団法人豊橋青年会議所

「いい会社 経営研究会」活動報告書

目 次

□ 目 次	2 P
□ 第1回 活動 参加者の集い	3 P
□ 第2回 沢根スプリング株式会社 会社見学	4、5、6 P
□ 第3回 L F C株式会社 会社見学	7、8、9、10 P
□ 第4回 活動報告会	11 P
□ 参加者アンケート集約	12、13、14、15 P
□ 「いい会社 経営研究会」の取り組みを終えて	16 P

第1回 活動 参加者の集い

<内容>「いい会社 経営研究会」参加者の集いとして、交流会をします。

<目的>会登録者と登録検討者をお呼びし、懇親を深めつつ会への参加をさらに促します。

<詳細>日時：2015年5月20日（水）

19時30分受付、20時15分開会、22時00分閉会

場所：黒松家餃子 豊橋市松葉町1丁目104

TEL0532-45-7770

次第：1. 開会 代表者挨拶（渥美典洋）

主旨説明を含め、本日の会への想いを伝えて頂きました。

2. 乾杯（参加者）

穂の国青年会議所の歴代OBである、トース株式会社岡本英次様に、参加者を代表して乾杯をして頂きました。

3. 懇親会

食事をしながら懇親を深めました。

4. 中締め（伊藤副理事長）

次回活動への期待感を高めつつ、価値ある交流であったことを伝えて頂きました。

5. 連絡報告事項

* 第2回活動のアナウンスをしました。

6. 閉会

【報告】・ 参加者22名（内豊橋青年会議所メンバー13名）

- ・ 「いい会社 経営研究会」の活動意義をお伝えしました。5月例会では伝え切れなかった、企業が働く人を大切にする事例を実際に見に行き、その想いを共有することでさらに意識を高める活動であることを伝えました。
- ・ 少数での活動であったため、個々に対しより多くの情報交換と想いの共有ができました。

第2回 沢根スプリング株式会社 会社見学

＜内容＞沢根スプリング株式会社 会社工場見学会

＜目的＞「人や社会に役立つ意識と、人を大切にする意識」の高く、成長した企業を訪問し、実際に企業活動を目で見て実感することで、参加者の意識をより高めるため。

＜選定理由＞5月例会講師の坂本先生が発起人代表を勤める「人を大切にする経営学会」主催の「日本でいちばん大切にしたい会社」大賞の第4回中小企業庁長官賞を授賞した会社であり、当会の活動主旨を実践している会社であるため。また所在地も浜松市であるため、初回の企業訪問先として参加しやすく、会社の経営理念「社員の幸せを追求するバランス経営」と、その実現のための具体策などを紹介して頂き、工場も見学できるなど、会社見学の受け入れ実績も豊富なため。

＜詳細＞定員：30名

参加者21名（内豊橋青年会議所メンバー14名）

日程：6月11日（木）

時間：集合13：00 開始13：20 終了15：25

＜会社詳細＞：沢根スプリング株式会社

〒432-8523 静岡県浜松市南区小沢渡町1356

TEL 053-447-3451

従業員数53名（男子39名・女子14名）

営業品目 ばね及び関連製品の製造販売

<http://www.sawane.co.jp/index.php>

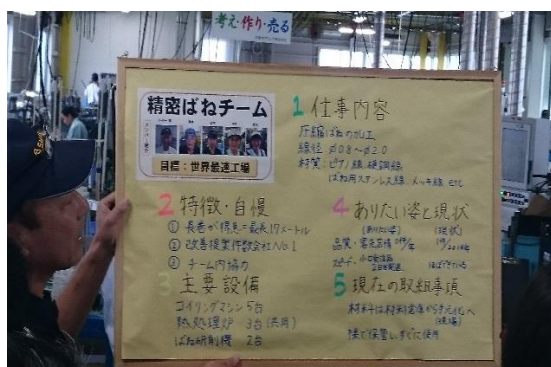
1. 沢根社長 会社説明

代表取締役社長 沢根孝佳様より会社概要の説明を頂きました。経営理念として、会社を永續させる、人生を大切にする、潰しのきく経営を実践する、いい会社にする、社会に奉仕する、の5つを掲げていらっしゃいます。



20年ほど前までは、自動車部品メーカーの量産品の製造がおもだったそうですが、「効率重視の下請け業務ばかりでは社員の成長につながらない」との考えのもと、近年では、小ロット・スポット品の受注に注力されています。一人の職人が全工程に携わることでばね1本からの受注や超短納期の仕事も積極的に受注する他、常時5000種類を超えるばねをカタログに掲載し注文に応じていらっしゃいます。こうした独自のサービスが多くのお客様に受け入れられ、現在の取引先は1万8千社を超えるほどになっているそうです。

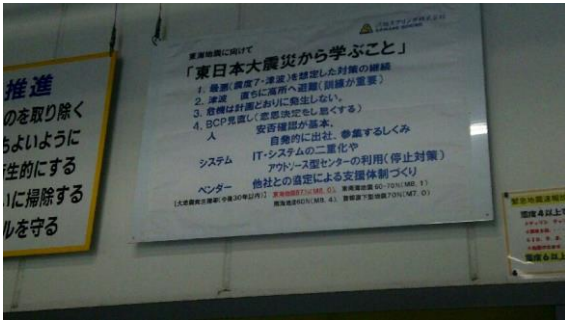
2. 工場見学



工場内部では従業員がチームに分かれ、個々のチームがそれぞれ目標を立て自らの力で「考え・作り・売る」を実践されていました。その他にも活発な委員会活動にて業務内外においても活発に活動されています。

3. 総括

沢根社長は「ゆとり」と「幸せ」実現経営を目指し、社員には限られた1回の人生を大切にしたいと考え、毎年全社員のその年の目標をまとめた「やらまいか文集」を配布しています。「自分も中々家庭で会社のことを話さないけれど、家庭はきっと知りたいだろう」といった社長の想いから、毎月の給与明細には、社員を支える家族のために社長自ら会社の状況を説明する「社長だより」を同封されています。また、毎月社員全員参加の「懇親会」を行い、今会社が何をやっているのか、どこに向かっていくのかを全社員が共有することで、「いい社員」とともに、理想の会社づくりを目指していらっしゃいます。



第3回 L F C株式会社 会社見学

＜内容＞L F C株式会社 会社見学会

＜目的＞「人や社会に役立つ意識と、人を大切にする意識」の高く、成長した企業を訪問し、実際に企業活動を目で見て実感することで、参加者の意識をより高めるため。

＜選定理由＞5月例会講師の坂本先生が発起人代表を勤める「人を大切にする経営学会」主催の「日本でいちばん大切にしたい会社」第4回大賞の実行委員長賞を授賞し、当会の活動主旨を実践している会社であるため。「すべては“ありがとう”のために」をモットーに日々、目標に向かって生き生きと挑戦できる会社経営に取り組んでいる、社員が輝くリアルな現場を見学できるため。

＜詳細＞定員：30名

参加者20名（内豊橋青年会議所メンバー11名）

日程：8月27日（木）

時間：10：30 こども未来館 ここにこ 前

10：40 出発（マイクロバス）

11：30 S A上郷 昼食休憩

12：25 昼食休憩終了・出発

13：40 L F C株式会社 到着 会社見学

16：10 L F C株式会社 出発

18：05 到着 こども未来館 ココニコ 解散

＜会社詳細＞：L F C株式会社

〒501-0472 岐阜県本巣市下福島113番地

T E L : 058-324-9888

従業員数 社員49名・スタッフ84名

<http://www.lfc-lg.co.jp/index.html>

営業品目 アパレル物流、物流加工事業

1. 井上会長による会社説明

LFC株式会社 代表取締役会長 井上武様より会社説明を頂きました。2003年の会社設立より大家族主義経営の考え方にに基づき、家族（従業員）のみんなが幸せになる会社を目指しています。LFCのLはLifeのL、FはFashionのF、CはCommunicationのCです。LFC株式会社はラブリーQueen株式会社の物流部門を独立させ誕生しました。経営理念がとても大事であると考えており、毎朝の朝礼で理念の唱和を行っています。最初は社員さんに不評だったようですが、10年続けてきたところ、みんな大きく成長するきっかけになったとのこと。定年制度がなく、65歳以降はパート扱いとなるが、本人が希望する限りいつまでも仕事ができます。会社設立当時は株式上場を目指していましたが、大きな赤字に転落した際、株式上場ではなく社員の幸せを目指すようになったとのこと。地域貢献や社員の幸せを目指すうちに、その行いによって企業ブランドの向上になっただけでなく、従業員の自信やモチベーション向上に繋がり、利益にも繋がっていったとのこと。



社員さんによるお出迎え



井上会長のお話



見学者全員の名前を入口に掲示



個人の名前入りのお土産や資料



スリッパにも個人の名前

2. 会社見学

アパレルのなかでも最高のクオリティを求められるブラックフォーマルを20年以上取り扱ってきており、高品質な仕事を行っています。お客様にとっての商品は大切な子どものような存在だと考えしっかりと清掃された清潔な環境で丁寧に取り扱われています。障害者の方を数名雇用しており、それぞれしっかりと仕事をしています。社員さんはお客様が来場されたとき、それぞれ作業を止め「いらっしゃいませ」と丁寧な挨拶とお辞儀をした後に作業を再開しています。また、社員同士が相手に感謝の気持ちを伝えるサンクスカードという制度を取り入れており、相手のいいところに気づき、伝えることで長所を見る目を養い人間的な成長をもたらしているようです。



倉庫見学の風景



社内廊下のサンクスカード掲示

3. 総括

井上会長は社員を家族同様と考え、みんなが幸せになる会社を目指しています。社員さんは皆さん活き活きと仕事をしており、その考えはしっかりと浸透していました。また、来社されるお客様や会社見学の方々へのおもてなしの心を大事にしており、入口では社長、社員さんと大勢でお出迎えし、団体相手にも関わらず個人の名前入りのスリッパやお礼状などを準備され、予想の上を行くおもてなしの心を感じることができます。

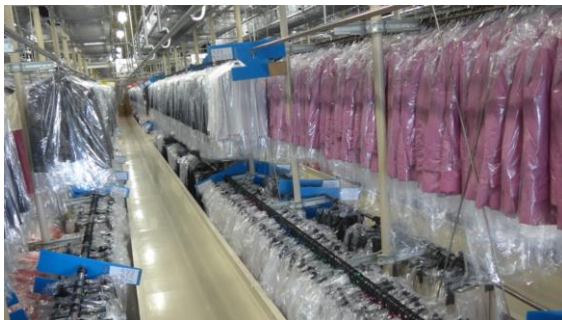
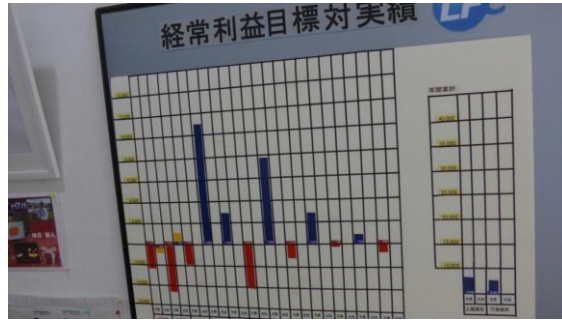
会長の3つのモットーは、

一つ、選んだ道がベストである

一つ、「ピンチはチャンス」「人生七転び八起き」

一つ、常に全力投球する事

また、いつまでに何をやるのか、人生設計や目標が大事であると仰っていました。LFC株式会社様はこれからも家族（社員）のみんなが幸せになる会社を目指していらっしゃいます。



第4回 活動報告会

＜内容＞本年度の活動を、会員で振り返りつつ、各社の変化や成長について報告し合いました。

＜目的＞本活動による学びを参加者一人ひとりが心に刻み込むことと刺激し合うこと、さらに参加者同士が本研究会を通じて感じたこと、自社や日頃の企業活動に落とし込めたことを確認し合い、より一層親睦を深めるため。

＜詳細＞日程：11月5日（木）

場所：黒松家餃子

豊橋市松葉町1丁目104

TEL 0532-45-7770

<http://http://r.gnavi.co.jp/naxy300/>

時間：19：30 受付

20：15 開会

22：00 中締

【報告】 参加者20名（内豊橋青年会議所メンバー16名）

- ・ 「いい会社 経営研究会」の活動を通じて感じたこと、会社を持ち帰ったこと、また現在の各企業の課題などを報告し合い、その結果を共有することでさらに意識を高めることができました。
- ・ 豊橋青年会議所の次年度の活動にも、企業育成の委員会が設立されたことを伝え、引き続きご参加、ご協力のお願いを致しました。



参加者アンケート集約

1. 「人を大切にする意識」と「人や社会に役立つ意識」について、

学んだ場面

- ・大家族経営。一人ひとりの社員の立場に立って考え、社員の幸せの為に会社がある。
- ・会社見学会という形式で数多くのおもてなし（メッセージ、色紙、うちわ、スリッパなど）をしていただいたこと。参加人数にかかわらず、変わらないおもてなしをしていたこと。
- ・売上や利益だけでなく社員とその家族を大切にしていくことを代表者が明言し、社員が喜んで代表者の方針に従っていきいきと働いていた。
- ・歓迎の心。一人ひとりの名前を出すことで、個人として迎えられている気持ちになり嬉しかった。社員の方の笑顔の挨拶、明るい雰囲気など。
- ・「うれしい、楽しい、大好き、愛している、幸せ、ついている、ありがとう」を唱えると奇跡が起きる話。
- ・人を想いやる深い気持ちを持ち続けること。社員の雰囲気づくりは非常に難しいが、とても勉強になった。
- ・社員さんが作業を一旦止め、笑顔で「いらっしゃいませ」と声をかけてくれた。社員さんが大切にされているからこそ、お客様へも素晴らしい挨拶ができるのではと感じた。
- ・見えることは僅かなので積み上げが重要。
- ・見学した企業は我々のような仕事に直接関係ない外部の方たちも積極的に受け入れる姿勢。
- ・障がい者の方と接して、社員の方々が優しくなったと聞いたとき。

<総括>

多くの感謝を込められたアンケートを記載頂きました。その中の一部を紹介させて頂きましたが、企業経営者様のお話の中だけではなく、私達を迎え入れる姿勢や、働いている人たちとの接点の中で学んだという記載が多くあり、企業見学の意義を実感することができました。百聞は一見にしかず、自分の目で確かめ体感することには多くの学びの機会がありました。

2. 1の場面で、どのようなことを考えたのかを記載

- ・日々の朝礼やルールがあるがそれを実践し続け、実践させ続ける事が凄いです。
- ・働いている人達が見学者の私達に対しても、お客様だと各自がちゃんと意識して対応していると感じた。
- ・代表者の言行一致の行動と考え方を理解しているからこそだと考えた。
- ・「ありがとう」の言葉がまだ少ないことに自己反省しました。

- ・パートさんの意見もきちんと聞くこと。小さなことでも認めることで笑顔が増え、意識が変わると勉強になりました。
- ・自社の社員さん達がまずは笑顔が多い仕事環境作りを行うことから始めたいと思いました。
- ・外部の為であると同時に自社の為にもなっていると感じた。
- ・偏った見方をしないこと。素直に人として接することなどで先入観を持たずフラットな物の見方をする事が大切だと感じた。
- ・社風として社員が幸せであることが会社全体の考えとなっているのではないかなと思う。
- ・福祉こそ率先してやるべきことと考えているが、行動力に欠けていると反省。
- ・毎日変わらない作業でも、接し方一つでよい時間になる。家族だけで色々考えてきたけど、パートさんの意見も聞き、みんなが責任を持つと共に楽しく仕事ができると思います。
- ・一人の人間として尊重しあう気持ちを感じた。
- ・社会に役立つことは企業ブランドの向上であると感じた。

＜総 括＞

こちらも多く意見の中から一部を紹介させていただきます。ご参加頂いた方、それぞれの会社の環境の違いの中から、それぞれの立場で記載がありましたが、ほとんどの方が人に対するやさしさを大切に感じた印象を受けました。勤務時間や待遇などそれぞれの会社の抱える悩みは違うのかもしれませんが、「人を大切にする意識」と「人や社会に役立つ意識」は誰もが持つことができ、誰もが大切に感じることなのだと改めて実感できました。

3. その後、具体的に变化したことと、その成果について

- ・自分だったら、自らの会社だったと考えるようになった。取り組みについては考えている所でまだ成果はない。
- ・「ありがとう」に心を込めるようにしました。その結果自分ができなかった事が少しずつできるようになりました。更に成長する為に自分の大好きな言葉を唱え、その言葉をより深く心に響かせています。成果が楽しみです。
- ・相手の長所、良い所を見つけることで意識の向上を図ることで、少しずつ人間力が上がった。
- ・ありがとうカードを導入したことで、他人に対する感謝の気持ちが高まった。また自主退職者が復職しました。
- ・社員とより良い関係を築き、お互い意識の向上を図るために呼び方から変えてみた。一学一践、今後も学びを実践したいと思います。
- ・社長が交代したばかりなので、今日の貴重な体験を心に少しでも助けていければと思います。
- ・自社の役割とは何だろうか。改めて考えた。
- ・弱者やできないことへの理解を示すことで、社会に何が足りないか考えるようになった。
- ・一人ひとりの社員の成長が社会への貢献になるのは、障がい者も健常者も変わらず経営者がや

っていくことではないか。これからもそのような観点で取り組みたい。

- ・「考える社員の育成」というところに刺激を受け、新たなプロジェクトを若手中心で立上げ、人選から進捗管理まで、自分たちの責任で進めさせています。特にリーダーの成長が著しいと感じています。
- ・「働きやすくする環境整備」というところに刺激を受け、中期計画に盛り込み、共有箇所（食堂等）の環境整備と、自部門の環境整備を少しずつ進めています。
- ・「製造業は物売りだけでは儲からない、サービス化が必要」というところに刺激を受け、販売会社のホームページ見直しと戦略の見直しに着手していく予定です。
- ・社内セミナーを通じて学ぶことの大切さを知り、モチベーションの向上を感じた。
- ・自身が実践してみせることで、徐々に社員にも影響を感じた。
- ・従業員満足度の視点で社内セミナーを年間カリキュラムとして実施。

- ・下記の図は、企業見学後に参加者が自社用に作成した成果としてお知らせ頂きました。



＜総 括＞

「いい会社 経営研究会」の取り組みを経て、多くの事例を頂きました。例え少しでも成果が上がったという報告は本当にうれしく思います。その成果が今はまだ限定的だとしても、大切にされた方がまた他の人を大切にする。その様に今回の活動が広がっていくと思うとワクワクします。それぞれの会社で「人を大切にする意識」と「人や社会に役立つ意識」が少しずつでも広がることで、会社を取り巻く多くの人たちの人生に幸せを感じて頂けたら、本当に素晴らしいことだと思います。活動を支えて頂いた皆様に感謝の気持ちでいっぱいです。

4. 本研究会の活動にどのような価値を感じていたか

- ・坂本先生が紹介する「日本でいちばん大切にしたい会社」大賞を受賞した企業を見学する機会を頂けたところに価値を感じました。
- ・普段何気なく仕事をしていると、こういった企業見学に行くことがなく、大変感謝しています。
- ・全くの異業種が集まる会なので、色々な会社の方とお会いし、お話をすることができることに価値を感じています。
- ・個人としてはなかなかこういった企業見学に行くことができません。ありがとうございました。
- ・人を大切にする会社、社会に役立つ意識をもった会社を実際に見て、「こんなふう to 働く人達を大切にしているのか」と感じることができました。こういった経験を得られることに価値を感じていました。

<総 括>

「いい会社 経営研究会」の活動について、様々な価値を見出し活動に参加して頂けました。坂本先生のご講演をきっかけに、「日本で大切にしたい会社」に実際に行き、取り組みや想いについて見聞きすることに価値を感じて頂けたことで、本研究会を立ち上げ、活動を行ってきたことに誇り感じることができました。また、会に参加する方々と接し、色々な話ができただことにも価値を感じて頂け、とてもうれしく思います。継続して参加して頂いた方々、会を支えてくださった方々に改めて感謝申し上げます。

「いい会社 経営研究会」の取り組みを終えて

本年度、豊橋青年会議所の委員長というお役を頂き、未来に輝く企業育成委員会の長として、これからの企業の立場や求められるものを模索することから始めました。改めて企業とは、と考えた時、当たり前のことですが私達が生活する上でも、まちや国を構成する上でも企業の必要性を感じました。その中で、私達の周りにも多くの業績優良な企業は存在しますが、それだけではない、人を幸せにする会社の存在に気が付きました。

そして5月に坂本光司先生を講師にお招きし、小さくても人を大切にする会社、人を幸せにする会社の事例をお伺いすることができました。昨今、企業に対して社会的な責任を問われる時代において、人を幸せにするという企業活動の根幹を改めて見直し、その想いを共有し広げるために、いい会社経営研究会を立ち上げ、活動を行いました。

今、「いい会社 経営研究会」の取り組みを終え、ご参加頂いた方から多くのお礼の言葉を頂けたと共に、私達も多くの学びを得ることができました。参考とする企業に直接足を運んだことで、実際に大切にされている働く人たちの充実した表情を見学できたことは、セミナーでの学びとは違い、頭で理解するのではなく感情で実感する様な体験でした。その様な体験は参加した者しか感じる事のできない大変貴重で有意義なことでした。そして、それぞれが想う「いい会社」について意見を交換し、刺激し合うことができたことも、私達にとっても充実した活動となりました。

「いい会社 経営研究会」の取り組みを経て改めて、企業の存在意義は人を幸せにすること。企業の存在価値は人に必要とされること。企業を通したまちづくりの在り方とは、企業に係わる全ての人が幸せになることだと確信しました。

最後に、この活動にご協力頂きました訪問先企業様、ご参加頂いた皆様、設営の皆様。誠にありがとうございました。皆様のおかげをもちまして、「いい会社 経営研究会」の取り組みが素晴らしいものとなりました。これからも豊橋青年会議所ではまちづくりのための活動を続けて参ります。今回のご縁を下に、今後も豊橋青年会議所の活動、勉強会など様々な場面でお会いできることを楽しみにしております。誠にありがとうございました。

「いい会社 経営研究会」 代表 渥美典洋